

所属	問1.新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴所属において課題と感じたことがありましたらお聞かせください。	問2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、貴所属が関わる利用者や関係する市民が抱えていた課題をお聞かせください。	問3. 貴所属において、【問2】における課題に対する解決策があればお聞かせください。	問4. 緊急事態宣言の解除後「新しい生活様式」を実践していくなかで、日常生活において抱えると想定される課題について教えてください。	問5. その他事務局や委員の方へご質問等ございましたら、自由にご記入をお願いいたします。	抽出された課題
(一社) 松戸市医師会	<p>○主介護者が陽性になった際の、要介護者の医療・介護提供の確保が困難。</p> <p>○マスク消毒用品等の不足に対する支援確保。</p> <p>○医療機関、従事者への偏見。</p> <p>○感染リスクが高い医療介護従事者に対するPCR検査の実施。</p>	<p>○通所施設閉鎖による、利用者のフレイル進行。</p> <p>○陽性自宅待機者（独居）の買い物、ゴミ出し困難。</p> <p>○受診控えの結果、本来の病状管理や検診、予防接種の実施困難。</p> <p>○発熱患者に対し、電話再診、薬を郵送するとすぐに服用できない。</p> <p>○末期がん患者は入院していると家族と面会できず、在宅医療への移行が増えた。</p>	<p>○電話等初診や電話等再診、オンラインによる新たな診療への取り組みの促進。</p> <p>○ドライブスルー方式による、PCR検査体制の設立と実施。</p> <p>○在宅医療・介護連携支援センターにCovid-19相談窓口を設置。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に関する困りごと緊急アンケートの実施。</p> <p>○介護現場からの新型コロナウイルス感染症Q & Aの作成。</p>	<p>○体操教室など介護予防プログラムへの参加が難しくなった。リーフレットの配布や動画の公開程度にとどまらず、屋外での運動を推奨する新しい方法の確立が必要。</p> <p>○閉じこもりがちな高齢者が買い物難民化する恐れがあり移動販売の誘致・促進が重要。</p> <p>○スマートフォンを所有している高齢者のITリテラシーを高めるための対策を講じる。</p> <p>○国の専門家会議が示した「新しい生活様式」は高齢者には実用的ではないため、松戸市独自の実情や高齢者向け推奨事項を示す必要がある。</p>	<p>○介護施設でクラスターが発生した場合の影響は甚大であり、市内で介護に関係する陽性者が発生した場合、その情報や濃厚接触者対応状況について、市として適時適切に情報を発信するため、千葉県と必要になる協議の進捗について知りたい。</p> <p>○災害弱者である高齢者、独居者、要介護者を訪問以外の方法で安否確認、モニタリングする方法についてどのような検討が進んでいるか今後どうすべきか知りたい。</p> <p>○今回のような困難な事態が生じた場合に、アンケートを実施したり、市内の医療介護従事者を招集する会議の継続開催を行う必要性が高いものと考え。市が主導すべきではないか。</p> <p>○市が介護施設を借り上げるなどして、濃厚接触者や病院から退院してきた方をいったん受け止める専用施設を設けることを検討してほしい。</p> <p>○介護従事者のITリテラシーを高め、Web研修会が有効に機能する素地を作る取り組みを主導してほしい。</p>	<p>○体操等のリーフレットの配布や動画の公開程度にとどまらず、屋外での運動を推奨する新しい方法の確立。</p> <p>○閉じこもりがちな高齢者等買い物難民への移動販売の誘致・促進。</p> <p>○独居高齢者や要介護者への訪問以外での安否確認やモニタリング方法の体制整備、実施。</p> <p>○介護従事者やスマートフォンを所有している高齢者のITリテラシーを高めるための対策。</p> <p>○松戸市の実情に照らし合わせた「新しい生活様式」松戸市独自の高齢者向け推奨事項の提示。</p> <p>○濃厚接触者や病院から退院してきた方の一時受け入れ施設の設置。</p> <p>○健康危機や災害発生時、市主導での関係機関緊急招集および継続会議、対策等の立ち上げ。</p>
(公社) 松戸歯科医師会	<p>○マスク消毒用品等の不足。</p> <p>○感染の疑い患者を受け入れて良いか（痛みがひどいケース）苦慮した。</p>	<p>○マスコミ報道により患者が受診控えをした結果、症状の悪化があった。</p> <p>○介護施設への訪問が途絶え、オーラルフレイルの進行や、誤嚥性肺炎リスクが上昇した。</p>	<p>○歯科医師会より、有症状時に独断で受診控えをせず、かかりつけ医への相談を呼び掛けた。</p> <p>○会員に対し標準予防策、診療実施の留意点を周知した。</p>	<p>○歯科分野の新しい診療様式が必要。</p> <p>○緊急を要しない患者に対してはオンライン等でコンサルティング・ブラッシング指導を行い口腔内環境維持をサポートする。</p>	<p>○緊急事態解除により、成人・妊婦歯科検診を勧めてほしい。</p>	<p>○口腔内環境の維持。</p>
(一社) 松戸市薬剤師会	<p>○コロナ感染疑いの者に対する服薬指導時にリスクを抱えたまま従事。</p> <p>○防護服・マスク・ゴム手袋・アルコール消毒液の入手困難。</p>	<p>○感染を恐れて、薬がなくなっても受診しない患者の増加、およびオンライン診療、電話再診制度の周知。</p> <p>○コロナ感染を恐れ不眠症状が悪化、睡眠導入剤、安定剤の処方が増えた。</p> <p>○発熱時に保健所に相談したが、医療機関がないとたらいまわしにされた。</p>	<p>○来局した際に、受診しなくても電話などで処方箋を発行してもらえることを説明している。</p> <p>○受入医療機関の情報提供。</p> <p>○消毒方法等の説明（ポスター掲示及び説明パンフレットの配布）を行った。</p> <p>○感染が疑われたときからの対処方法のポスターを作成し、啓蒙した。</p>	<p>○制限解除で、意識が薄まり、感染拡大を危惧する。</p> <p>○薬剤情報を伝えるときに、飛沫対策の衝立があり、耳の遠い方への疎通が困難。</p>		<p>○オンライン診療、電話再診制度の周知。</p>

所属	問1.新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴所属において課題と感じたことがありましたらお聞かせください。	問2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、貴所属が関わる利用者や関係する市民が抱えていた課題をお聞かせください。	問3. 貴所属において、【問2】における課題に対する解決策があればお聞かせください。	問4. 緊急事態宣言の解除後「新しい生活様式」を実践していくなかで、日常生活において抱えると想定される課題について教えてください。	問5. その他事務局や委員の方へご質問等ございましたら、自由にご記入をお願いいたします。	抽出された課題
松戸市訪問看護連絡協議会	<p>○スタッフの出勤体制が整わず、新規受け入れが困難となった。</p> <p>○訪問時の安全確保のため感染対策をとったが、感染予防グッズが入手できず防護服等を使いまわし、リスクが高かった。</p> <p>○防護服の着用基準について個人で認識が異なり、統一できなかった。</p> <p>○同業他者との連携でICTを導入したが、端末が2台しかなく不便が生じた。</p> <p>○万一の事業所閉鎖に備えて、利用者受入について同業他社と連携したい。</p> <p>○主治医が都内の場合、指示書の発行が困難。</p> <p>○ケア時は密を避けられない。</p> <p>○困難ケースの担当者会議開催をどのように実施するか。</p>	<p>○感染を恐れて訪問を中止したケースもあり、再開時期の判断がつかない。</p> <p>○寝たきりで介護度の高い方が感染を恐れて、何の指導も受けずに在宅に戻ったケースもあった。</p> <p>○デイサービスの中止により、入浴、食事の機会がなくなった。</p> <p>○家族と会いたいがために退院するケースが増えた。</p> <p>○施設にいる方は家族と会えず、精神的に不安定になった。</p> <p>○発熱時に受診ができなかった。</p>	<p>○家族の介護力を上げるための指導。</p> <p>○入浴介助の実施、他サービスの紹介。</p> <p>○マスクの無い人への配布。</p> <p>○傾聴、感染予防周知。</p> <p>○訪問頻度については、ご本人の体調や家族の状況を踏まえ行う内容を再検討し、主治医と相談し、無理のないように対応した。</p> <p>○状況によりガラス越しに面会。</p> <p>○在宅に戻すケースについて、当該施設に、動画や写真などを使って、ご家族が多少でも介護を想定できるような体制をとるよう伝えた。</p>	<p>○カンファレンス不足により情報不十分なままで介入となってしまう。</p> <p>○通院拒否により訪問看護の需要増大。</p> <p>○自粛により、廃用の進行、意欲低下。</p> <p>○訪問対象者（高齢者・MCI等）は体調不良の申出や咳エチケット等感染症対策について理解されないことが多い。</p> <p>○ケア中は密になってしまう。</p> <p>○防護服の着用基準の徹底。</p> <p>○感染症対策物品の不足。</p> <p>○自身が感染媒体となり得る懸念を抱えたまま従事するストレス。</p> <p>○高齢者が自宅に引きこもることによる意欲、フレイル低下。</p>	<p>○マスクは汗で濡れてしまうため、頻繁に取り換えることになりそうなので、引き続き国からの支援をお願いしたい。</p> <p>○訪問看護は三密になり易い。熱中症対策に対する援助を希望。利用者に配布できるものがあれば尚可。</p> <p>○今後第2波を想定し、特例的に通所サービスを利用して、休んでいる場合、制限を設けて訪問リハビリの介入にて可能となるよう検討していただきたい。</p> <p>○孤立してしまった高齢者に対し、訪問のみならず薬剤師も積極的に入って頂けると高齢者にとって有益だと考える。</p>	<p>○同業他者や多職種とサービスを補填し合えるような体制作り。</p> <p>○防護服の着用基準の徹底。</p>
松戸市リハビリテーション連絡会	<p>○対面での会議や、講習会の開催困難。（会議は、ウェブ対応可だが、講習会は中止）</p>			<p>○フレイル予防の活動が必要。</p>	<p>○感染予防の観点から松戸市でもWeb会議導入を進めてほしい。</p>	<p>○Web会議の導入。</p>
松戸市消防局	<p>○本来、指定感染患者の移送は、感染症法第21条に基づき都道府県知事の責務。今回のように消防への移送協力が今後も想定されるが、従事者のリスク軽減費用負担等県との協議が進まなかった。</p>			<p>○バイスタンダー（事故現場等に居た市民）のよる応急手当が、途絶える可能性がある。</p> <p>○マスク着用による熱中症傷病者の増加が懸念される。</p>		<p>○マスク着用による熱中症予防のための普及啓発強化。</p>
(福)松戸市社会福祉協議会	<p>○ボランティア事業の推進について判断に迷った。</p> <p>○在宅福祉サービスについては緊急事態宣言下での中止について利用者の理解が得られなかった。再開についても判断に迷った。</p> <p>○日常生活自立支援事業については財産管理サービスを継続した。生活支援の実施者（住民）の活動自粛により調整役である専門職が支援することになり、相談支援体制に影響が生じた。</p> <p>○地区社協事業は高齢者が集まる活動が多く、密を避けるため事業を中止したが、高齢者の孤立化が心配。</p> <p>○福祉教育事業は学校が再開してもカリキュラムが優先となり、提案が難しい。</p>	<p>○ボランティア活動参加者は判断を迷う人が多く、中止といわれるまで判断できない傾向があった。</p> <p>○在宅福祉サービスの中止により、利用者の心身面の低下が見られた。</p> <p>○日常生活支援事業については障害を抱える人からの相談が多かった。また特別給付金の申請方法がわからないという作成相談も多かった。</p> <p>○地区社協事業は活動者のモチベーション低下が見られた。</p>	<p>○ボランティア活動については無理に再開を進めず、状況を見て助言している。</p> <p>○在宅福祉サービス協力会員へのマスクの配付、利用者への電話による体調確認で不安を聴く配慮をした。再開にあたっては「体調チェックリスト」を配付し、事務的なものは郵送や振込みによる手続きに代えた。</p> <p>○日常生活支援事業については利用者の訴えを聞き取り、生活支援員と共有して対応している。支援継続活動者には、マスクの配付や意向確認、事前の体調管理を行った。</p> <p>○地区社協事業は活動者は非接触でもつながりがもてる活動方法を考える必要がある。（電話、オンライン、安否確認、配食活動。また、予防対策をした上での地域に向くアウトリーチ活動）</p>	<p>○ボランティア事業の推進について、福祉施設での活動は安定できない。講座等人を集めるものは、公共施設利用制限も含めてどの程度見直しが必要なのか。</p> <p>○在宅福祉サービスについても研修等の見直し検討、また支援時の接触等配慮が必要。</p> <p>○日常生活自立支援事業については新生活様式を把握していない。</p> <p>○地区社協の中心事業である会食会を人数を減らすなどして開催できるか。</p> <p>○福祉教育事業は学校の教育カリキュラムが優先となり、また内容も密になるため、新生活様式にあったプログラムの検討が必要。</p>		<p>○活動者のモチベーション向上のための働きかけ。</p> <p>○非接触でもつながりがもてる活動の実施。（電話、オンラインでの安否確認、配食活動。予防対策をした上での地域へのアウトリーチ活動）</p>

所属	問1.新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴所属において課題と感じたことがありましたらお聞かせください。	問2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、貴所属が関わる利用者や関係する市民が抱えていた課題をお聞かせください。	問3. 貴所属において、【問2】における課題に対する解決策があればお聞かせください。	問4. 緊急事態宣言の解除後「新しい生活様式」を実践していくなかで、日常生活において抱えると想定される課題について教えてください。	問5. その他事務局や委員の方へご質問等ございましたら、自由にご記入をお願いいたします。	抽出された課題
松戸市介護支援専門員協議会	<p>○新規受け入れの困難、利用者の利用控え。</p> <p>○スタッフや家族が感染疑いの際の対応に迷った。</p> <p>○介護者が陽性となった際に要介護者をどのように保護するか、行政を含めた対応検討が必要。</p> <p>○要支援配慮者が濃厚接触者で無症状となった場合、緊急性もなく、公共交通機関も使えず受診手段がなかった。</p> <p>○アルコール消毒液、ハンドソープ、検温計の入手困難。</p>	<p>○一人暮らしで不安が募り、ヘルパー等のサービスを一切中止して家にこもっていたが、ヘルパーを中止したことで日常生活に支障が出た。</p> <p>○外出自粛でフレイル低下、認知機能低下が見られ要介護度が悪化した症例もあった。</p> <p>○受診控えにより症状が悪化し、救急搬送されたケースがあった。</p> <p>○高齢者は情報が少なく、不安を訴える方が多いので精神的ケアが必要。</p>		<p>○もともとデイサービス、デイケア、ショートステイの利用拒否があった方が、コロナが怖い、と引きこもり状態になっている。</p> <p>○高齢者は感染予防意識が高いと思う。そのため外出自粛が高じ、孤立化やフレイル進行が進むのではないかと。</p>	<p>○正しい情報をタイムリーなタイミングで、国、県、市行政がこれからの、第2波、第3波に備えて発信してほしい。</p> <p>○ウイズコロナ状態のまま、事業所ごとに、「新型コロナウイルス濃厚接触者等〇〇サービス対応マニュアル」を作成し、第2波に備えたい。</p>	<p>○孤立、フレイル予防のための生活や活動の推進。</p>
松戸市認知症高齢者グループホーム協議会	<p>○体調不良の職員が出勤できず、人員不足が深刻。</p> <p>○クラスター発生病院の退院後の受入判断困難。</p> <p>○感染症リスクの判断基準がなかった。</p> <p>○ゾーン分けや防護服対応が不慣れであった。</p>	<p>○外出制限や集団でのレクリエーションの中止、ボランティア受け入れの制限などで下肢筋力低下や、認知症の進行などがあった。</p> <p>○施設内隔離について、家族の理解が得られなかった。</p> <p>○職員の感染に対する恐れ、差別などストレスがあった。</p>	<p>○家族、本人の不安はそれぞれ違いがあり、1つ1つ対応したが面会については、窓越しの面会、TV電話の会話、手紙によるやり取りなどで対応。</p> <p>○施設内隔離訓練を行い説明材料を増やした。</p>	<p>○利用者の外出について、どこまで広げて良いのか判断に迷う。</p> <p>○夏場の換気、マスク着用について困難さを感じる。</p> <p>○施設内感染発症時に業務体制維持を如何にするか。</p> <p>○介護業務はリスクが高いと認識されており、雇用に支障が生じるのではないかと。</p>	<p>○検査体制の充実が必要。介護施設は優先してほしい。</p> <p>○感染防止のための隔離等の措置について身体拘束禁止ルール上の取り扱いを明確化してほしい。</p>	<p>○ゾーン分けや防護服の着用等感染対策の情報共有</p> <p>○感染リスクについての正しい知識や情報の共有</p>
松戸市小規模多機能居宅介護連絡会	<p>○マスク、消毒液、ゴーグル、ガウン等の入手困難。</p> <p>○感染者や濃厚接触者の行動については明確な指示があったが、その周囲の人達の行動をどうすればよいか悩んだ。</p> <p>○休校や休園により、子育て世代の労働力が減った。</p>	<p>○発熱時に希望してもPCR検査を受けることができなかった。</p> <p>○コロナ感染者が出た病院から退院した利用者を通所ですぐに受け入れることができず、2週間自宅待機とした結果、廃用が進んでしまった。</p> <p>○もし利用者家族に感染者や濃厚接触者が出た場合、対応に苦慮すると予測される。</p>	<p>○経過観察者や家族がコロナで介護できなくなった場合に受け入れる施設があると、心強い。</p>	<p>○祭りやイベント、会議がこれまでの形では開催できず、地域社会における人と人とのつながりが希薄になってしまっているのではないかと。</p>		<p>○経過観察者や家族がコロナで介護できなくなった場合の受け入れ施設。</p> <p>○人と人とのつながりの希薄化。</p>
(一社)千葉県社会福祉士会	<p>○会員向け研修開催の中止に伴う、代替案がない。</p> <p>○ホームページにコロナ関連相談窓口の案内を掲載したが、うまく周知できなかった。</p>	<p>○高齢者の方は、外出する機会を減らしていたため、コロナウィルスに便乗した電話が増えたという方が多く見受けられた。</p>	<p>○消費生活センターへの情報提供。</p> <p>○電話で話を聞き、心の安定を図る。</p> <p>○「留守録設定」にすることで、防止効果があることを助言。</p>	<p>○通いの場への参加の遠慮。</p> <p>○マスク、検温の常態化。</p> <p>○風評。</p>		

所属	問1.新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴所属において課題と感じたことがありましたらお聞かせください。	問2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、貴所属が関わる利用者や関係する市民が抱えていた課題をお聞かせください。	問3. 貴所属において、【問2】における課題に対する解決策があればお聞かせください。	問4. 緊急事態宣言の解除後「新しい生活様式」を実践していくなかで、日常生活において抱えると想定される課題について教えてください。	問5. その他事務局や委員の方へご質問等ございましたら、自由にご記入をお願いいたします。	抽出された課題
松戸市特別養護老人ホーム連絡協議会	○地域の方々の過剰反応。	○集団を感染起こしてしまった施設だけでなく、近隣の保育施設・高齢者施設にまで中傷の電話が入った。	○丁寧に対応した。	○施設では家族の面会が課題。オンラインや窓越しではなく、できるだけ、もとに戻れるよう努力している。		
松戸市町会・自治会連合会	○新年度でもあり事務手続きの困難さ。 ○公共施設を利用する町会等の活動制限、およびそれに伴う困難。			○地域での会議等、感染対策をして開催しなければならない点、人との繋がり方にも変化が生じてくると予想され困難になるのではないか。		
松戸市はっつクラブ連合会	○サークル活動の中止が困難で活動者から責められた。市から方針が示されないと活動できない。	○公共交通機関の利用ができなかった。タクシー利用は大変であった。 ○友人との交流ができなかった。 ○詐欺と思われる電話があった。	○マスクを会員に4枚+2枚配布し喜ばれた。 ○マスクの手作りも指導した。 ○つるし雛の作成を行い、励みになり喜ばれた。	○外出の方の手助け 買物手伝い。 ○意識した声かけ活動が重要。	○市と電話連絡をとり、会員に伝えるのが大変時間かかる。メール等利用の推進。	○市によるマスクの斡旋。 ○高齢者を狙う電話による詐欺防止への普及啓発。
(特非) まつどNPO協議会	○管理をしている施設が入館禁止となり、団体の状況がつかめなかった。 ○オンラインの相談受付を実施したが件数は少なかった。 ○生活支援コーディネーター関連の会議中止により地域の方と会えなかった。	○月一回、週数回などの活動が確実に減少している。活動回数が半減以下で、活動の参加者が激減していることがわかった。 ○活動者、運営者の意欲低下があった。	○セミナーをオンライン講座に切り替えて配信。 ○団体向けITツール導入支援→サポートセンターで週一IT無料相談を実施する予定。活動内容切替等の相談。 ○医療センターアイシールド製作ボランティア募集。 ○フードドライブの呼びかけと当日のお手伝い。	○意識の切り替えができない運営者に如何に新生活様式を理解して、再開してもらうか。 ○運営者の運営に対する気持ちのプレを解消する。 ○オンライン化の推進。	○各地域の通いの場や社会活動の場において、いまだにどのように一歩踏み出せばいいのか分からず足踏みしている運営者の方々が多くいると感じる。一定の指針は発信してほしい。	○オンライン化の推進。 ○ボランティアによる不足物品の製作等コロナ禍に必要な活動の創出。(ニーズと支援提供機関とのマッチング)
松戸市商店会連合会	○商店会会員の飲食店に営業時間短縮の要請が難しい。	○ステイホームの中、買物難民の高齢者等が顕在化。		○買い物難民への対応。	○問4 を実践できるよう補助を希望。	
地域包括支援センター	○相談来訪者の感染有無の確認。 ○緊急事態宣言下における人員体制の整備。 ○窓口のビニールカーテン等感染予防対策に対する費用負担。 ○子育て中の職員が通常勤務できない。 ○クラスター発生予防のため2班体制をとった。宣言解除後は元に戻したが、そのほうが感染リスクが高まる。感染予防と業務体制のバランスをどのようにとるか悩む。	○コロナで通所施設に通えなくなり、同居家族の介護負担が増えた。 ○他者との関わりが減ったことによる、筋力、意欲低下などの相談が増えた。 ○マスクがなく通所できないケースがあった。 ○在宅時間が増え、夫婦喧嘩や障害者がいる家庭での接し方に関する相談など家族内トラブルの相談が増えた。	○介護予防教室申し込み者や、体重増加を自覚している方には自宅のできる運動、体操を絵にしたものを渡している。 ○市の防災無線で毎日定時に体操の音楽を流す。 ○施設利用希望者は各自マスク等を用意してもらうため利用者が購入しやすいか確保できるようになるとよい。	○厚労省や県・市等からどどんメールで情報提供はあるが、混乱するので少し交通整理してもらいたい。 ○社会的距離の浸透により孤立する人が増える。 ○三密回避のために、会場選択、利用者制限が困難。 ○通いの場の運営対策。	○人員配置ができない場合、委託費の返還をしなければならないが、新型コロナウイルス感染症拡大を受けての措置で考慮してもらえないか。 ○市民センターやサロン会場などに簡単に測れる体温計を設置してほしい。 ○第2波、第3波が今後来た場合、松戸市としての方針を早く出してほしい。	○国や市からの情報の整理。 ○外出自粛下でも、うつや筋力低下を予防できる情報提供。 ○高齢者の孤立化へ対応。地域での見守り体制づくり。